

2017年度予算要求書を提出

日本共産党厚木市議員団では、12月26日(月)、2017年度予算要求書(58項目)を厚木市に提出しました。

今週の活動から



1月8日(日)、荻野運動公園で平成29年厚木市消防出初め式。昨年は、4月に熊本地震、8・9月の台風、そして12月には糸魚川市の大火など、いろいろな災害が起きた年でした。今年は何んなことが起きるのか、いつ、何が起きても対応できるように、国も各自自治体も備えが必要です。

(左:栗山香代子議員・右:釘丸久子議員)

1. 医療・福祉の充実を

- ① 地域包括ケア社会の実現に向けて行政の役割を十分認識し、事業を推進するとともに、地域住民等への働きかけ及び支援を充実すること。
- ② 一人暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯の実態を把握し、相談・支援ができるよう努めること。
- ③ 市内全域での高齢者の居場所づくりを進めるため、行政として地域住民への働きかけを引き続き行うこと。
- ④ 特別養護老人ホームなど高齢者施設の待機者解消のための対策を講じること。
- ⑤ 特別養護老人ホームなどへの入所を、要介護1・2も対象とするよう国に求めること。
- ⑥ 介護事業所が適切に運営、継続できるよう、状況把握に努め必要な支援を行うこと。
- ⑦ 介護従事者が専門職として生活ができる賃金の保障と、一人夜勤の解消など待遇改善を国に求めること。
- ⑧ 医療費の無料化及び国民皆保険制度の継続を国に求めること。
- ⑨ 国民健康保険事業への国庫負担の拡充を引き続き国に求めること。



- ⑩ 国民健康保険事業の保険料及び一部負担金減免制度について、被保険者の状況に応じて丁寧な周知をすること。
- ⑪ 心身障害者医療費助成制度の年齢制限を撤廃すること。
- ⑫ 生活保護担当職員の人員増により、生活保護受給者の生活実態の把握や相談の充実及び職員の負担軽減を図ること。
- ⑬ 厚木市立病院の医療スタッフ並びに事務職員の確保に努めること。
- ⑭ 年金制度のマクロ経済スライドを止め、最低保障年金制度の創設を図るよう国に求めること。

2. 少子化対策・子育て支援の充実を

- ① 子ども医療費助成を、国の制度として実施するよう引き続き求めること。
- ② 病児保育事業の実施に向け、具体的な調査・研究を進めること。
- ③ 市立保育所の全園民営化計画を見直すこと。併せて、保育士はできる限り正規雇用とすること。
- ④ 育児休業制度の給与保障の拡充を国に求めること(3～8は2面にあります)

9. 国際平和・非核宣言都市としての事業推進を

- ① 戦争法(安保法制)及び特定秘密保護法の廃止を国に求めること。
- ② 平和市長会議に加盟している自治体として、平和の尊さを広く市民に知らせること。
- ③ 厚木市の国際平和・非核宣言を広く市民及び来厚者に知ってもらうために、本厚木駅北口や行政区境に宣言塔を設置すること。
- ④ 沖縄でオスプレイの墜落事故が発生した。関係自治体と協力し、米軍厚木基地へのオスプレイの飛行差し止めを要求するよう、国に働きかけること。

10. その他

- ① 社会保障・税番号制度について、国に対して制度の廃止を求めること。
- ② ギャンブル依存症を助長するカジノ推進法の廃止を国に求めること。

1月の法律相談

1月24日(火) 1時半～
前日迄の連絡を!

話題あれこれ

穏やかな「はたちのつどい」 歌声が新成人を魅了

1月第2月曜日は成人の日、今年は1月9日でした。厚木市の今年の新成人は、2432人。

前日の雨も上がって、厚木市文化会館の玄関前に大勢集まっていた新成人でしたが、開始の11時前に小雨が降ってきて、会場に入り、定刻に始まりました。

実行委員会方式になって10年、今年は7名の実行委員の全員が女性。実行委員長も進行係も落ちていて、式典やアトラクションが穏やかに進みました。

アトラクションでは、あつきミュージックカフェステイバル大賞受賞者の歌。新成人の国丸リサさんは



第1回、昨年成人式の高森俊さんは第3回の受賞者です。新成人へのメッセージのこもった歌声に、会場も聴き入っていました。素敵な成人式でした。

パンフレットの入った袋の中にはマスクが入っていました。

裏を見ると「自衛官候補生募集中!」。一昨年の秋に戦争法ができ、昨年はいかに駆けつけ警護まで任務となって、家族から心配の声がでています。

この若者の未来が、戦争する国であってほしくない。心を新たにした成人の日でした。